

自律・責任	自尊感情	協調性	コミュニケーション	思いやり	主体性	特別な支援の充実	市町教育委員会の取組
-------	------	-----	-----------	------	-----	----------	------------

## 思いやりを育むための取組

尾道市立吉和小学校 校長名：津田 秀司 【施設泊】福山市自然研修センター

キーワード：家族の大切さ・郷土愛・地域の方との交流

### 1 体験活動の概要

(1) ふるさとの良さを「みつめる・つなぐ・ひろげる」3泊4日体験活動の主な内容

ふるさとの良さを見つめ、受け継いでいくという思いを高めるために、ふるさとの料理作りや地元の先輩との交流を行う。

- 地域の方を招いての「吉和うどん」作り
- 地域の先輩を講師とした「吉和を学ぶ」講演会
- 地元食材を使った「吉和カレー作り」



	午前	午後	夜
1日目		人間関係づくりプログラム	ナイトハイキング
2日目	スコアオリエンテーリング	吉和うどん作り	家族からの手紙
3日目	吉和カレー作り	吉和を学ぶ（講話）	キャンプファイヤー
4日目	人間関係づくりプログラム	退所	

(2) 体験活動を通じて育てたい児童の姿（◎重点）

いつも住んでいる地元を離れ、地元を見つめ直す視点を持たせる学習をしたり、地元の食材を使った料理作りをしたりする活動を通じて、ふるさとの良さを感じ、自分たちにもできることを考え、実際に行動しようという思いを持つ。

#### **ポイント：ねらいの明確化**

学校教育目標や学年目標と長期集団宿泊活動のねらいを関連させることで、3泊4日の期間でしかできないプログラムにすることができます。

### 2 実践の内容

(1) 地域の方を招いての「吉和うどん」作り

「吉和うどん」は、吉和の海でとれた鯛から出汁をとり、つゆを作り、鯛の身をうどんの上ののせて食べるうどん、昔から吉和の漁師さんの間に伝わっている料理です。また水は、地元にある鳴滝山の井戸水を使用しました。鳴滝山は吉和小学校の子供たちが39年間も植樹を続け、清掃活動も続けている山です。地元でとれた食材や地元の水を使った料理作りを、地元のゲストティーチャーを招いて教えてもらいながら、子供たちが全ての行程を行いました。

## ポイント：軌道修正の重要さ

「吉和うどん」作りに夢中になると、子供たちもうどんを作ることに集中してしまいました。出来上がって食べた時の感想が、「おいしい」という感想のみで、ねらいとしている「ふるさとの良さを見つめる」に向かっていかない状況が起きてしまいました。そういった時には、まずは教職員でねらいの再確認をし、子供たちにねらいに立ち返るように伝えました。「わざわざ、地域の方に来てもらったのは、吉和の良さを感じるためです。ただのうどんではなくて、吉和の水をつかい、吉和の海でとれた鯛を使ってだしをとった『吉和のうどん』です。」ということをし、再確認しました。そうすることで、子供たちはただのうどん作りではないというねらいに基づいた感想がでてきました。ねらいに近づけるためには、指導者による軌道修正も重要な要素です。

### (2) 地域の先輩を「吉和を学ぶ」講演会

吉和出身の先輩を招いて、吉和の良さや夢を持つことの大切さについての話をしてもらいました。吉和出身の方が、たくさん活躍していることを知り、子供たちはまたふるさとへの想いを募らせているようでした。その後、児童から感じたことを話したり質問したりする交流の時間を作りました。

### さらにステップアップ!!



吉和小学校では、事前学習として吉和の良いところの写真を、子供たちに撮影させておきました。その写真を、「吉和44選」として、宿泊活動中に友達に紹介し合う活動を行っています。体験活動に入る前に、体験活動後に目指したい姿が明確であると、事前と当日と事後をつなぐ取組となります。

### 宿泊活動中に「吉和44選」に取り組んだ児童の感想

- 吉和の町には素敵な場所がたくさんあることや、素晴らしい自然、優しい人がいっぱいいることを発見することができました。
- ふるさとについてじっくり考えたり、見つめ直したりすることで、「自分が安心して帰れる場所は、吉和なんだ」ということに気づくことができました。吉和の町は、わたしたちの宝物だと思います。
- 友達の写真から、気づかなかった吉和の景色や、知らなかった場所を知ることができました。今まで当たり前だと思っていた景色が、宿泊学習で町を離れてみると、なつかしく思えました。
- 町に残る伝統行事の写真を見て、誇らしく思いました。これからは自分たちがその伝統を守っていききたいし、引き継いでいきたいという気持ちになりました。
- 自分たちはたくさんの方にお世話になっているということに気づきました。感じたことを文章に表すことで、感謝の気持ちをもつことができるようになりました。

### (3) 保護者・地域の方へ向けた学習発表会での発信

宿泊活動で感じたことや成長を実感したことを、地域の方に伝えていくために、学習発表会で発表をしています。

### 発表会における児童の発表

- ゲストティーチャーの方から教わったうどん作りを通して、わたしたちはふるさと吉和のやさしい気持ちを感じました。吉和のなつかしい香りや味を感じることもできました。
- 吉和の先輩から、夢を持つことの大切さや、夢を実現するためには、少しずつ努力をし、その努力をし続けることが必要だと教えてもらいました。わたしたちは先輩の熱い気持ちも受け継ぎました。
- わたしたちは、吉和の町で生活をし、たくさんの人に支えられて生きています。今のわたしたちにできることは、小さなことかもしれない。でも大切に守り継ぐことで何かを変えることはできるんだ。わたしたちは、ふるさと吉和を守り継いでいきます。

子供たちが「吉和の良さを受け継ぎたい。」と伝えることで、地域の方も元気になっています。

### 発表会における地域の方の感想

- 児童が、地域のことを大切に思っている気持ちが、発表から伝わってきました。とても、嬉しかったです。吉和の事を分かりやすく発表していたので、大人にとっても改めて勉強になりました。
- 堂々と発表している様子から、3泊4日の経験や学習したことを通して成長した姿を見取ることができました。気持ちを込めたセリフの言い方や演技する姿を見て頼もしく思いました。
- 児童の発表を見ることで、自分たちも吉和の良さを改めて感じて、自分の町を誇らしく思うことができました。これからも、吉和の良さをしっかりと学んで、良さを引き継いでいってほしいと思います。

## ポイント：感想の言語化

自らが成長した姿を子供たちの言葉で表現する活動を行うこと、また、地域のために自分たちにできることを日常的に実行できるようにしました。

### さらにステップアップ!!



子供たちの成長を、自分たちの言葉で話すことができるようにするためには、どのような成長があったのかを、目標に照らし合わせた振り返りが大切です。集団での振り返り際には、集団の目標を意識させ、個人で振り返る際には、個人の目標を意識させて行います。

#### (4) 家族の大切さに気付かせる取組

3泊4日の間、いつもは一緒に生活をしている家族と離れることとなります。この期間は、いつもは感じることでできない家族の大切さに気付かせる絶好の機会です。

事前の保護者説明会の時に、保護者の方だけに伝えて、子供たちへ宛てた手紙を書いてもらっておきました。それを体験活動中に、子供たちに渡しました。

### 保護者の方へのお願い

子供たちへのメッセージを、2日目の夜に、サプライズで渡します。  
テーマ「普段なかなか伝えられない 子供たちへの想い」

- ・子供たちの普段のがんばり
  - ・良いところ
  - ・どんな経験をしてきて欲しいか
  - ・どんなふう to 育てて欲しいか 等々
- お配りする封筒に入れて、個人懇談の時に御持参ください。  
よろしく願いいたします。

この手紙渡しは、体験活動の2日目の夜に行いました。1日目の夜は、友達同士の交流をメインに、3日目は最後の一日として、子供同士が達成感を味わえるようにキャンプファイヤーをメインにもってくるようにプログラムを考えたためです。

2日目の夜、家族と離れて少しさみしさを感じている子供たちにとっては、家族の方からの手紙を読んで、「よしっ、がんばろう。」と思っているように感じました。

#### 家族の大切さについて気が付いた児童の感想

- 家族からの手紙を読んで、どんな気持ちで今まで育ててくれたのか、普段接してくれていたのかが分かりました。
- 手紙に書かれている内容を読んで、涙が出そうになりました。自分の事を思ってくれている気持ちや「元気に育ってきてくれてありがとう」という言葉が書かれていて、幸せな気持ちになりました。
- 家族は、自分では気がつかないことや、自分の良いところや悪いところも含めて、一番よく分かってくれている存在だということに気づきました。
- 自分をとても頼ってくれていることが分かりました。だから、自分自身が家族を困らせるようなことをしてはいけないと思いました。
- 「家族は協力し合って生活していくものなんだよ。だからあなたも周りの人と支え合って生きていく人になりなさい」という言葉が今でも胸に残っています。
- 三日目に、自分が家族に手紙を書くときには、素直な気持ちで書くことができました。家族の人と手紙のやりとりをすることで、普段は聞けない気持ちを知ることができました。自分の夢に向かって頑張ろうという気持ちになりました。

#### さらにステップアップ!!



体験活動の時に、子供たちから家族へ宛てた手紙を書くことも効果的です。手紙をもらったら、家族への想いも高まっています。各校のねらいに沿って、また、子供たちの実態に応じて、いつ、どのタイミングで取り組むのかを考えることが重要です。

#### (5) その他の教育活動とのリンク

吉和小学校では、豊かな体験活動を充実させようと、「花いっぱい栽培活動」、「鳴滝山清掃・植樹」、「美しい川をよみがえらせる清掃活動」などの体験活動を行っています。これらの体験活動を日常的に行い、長期集団宿泊活動とのつながりを持たせることで、児童自らがねらいを達成しようという意欲が高まっています。

また、食育と結びつけ、地域の食材などから、ふるさとの人々の知恵や努力を学び、さらにふるさとの良さを改めて体験させるようにしています。